

まちづくり専門家プロフィール

ふりがな	なかむら とおる	
氏名	中村 通	
区分	アドバイザー	コンサルタント
専門分野又は得意とする分野 1、商売繁盛へ。感動接客・商品づくり、広告、店舗から商店街まで企画。 2、人が群がる観光地へ。風土・伝統・地場産業・人物をヒントにまちぐるみの総合活性化企画。 3、住みよいまちづくりのコンセプトの立案。 ※各現場指導・イラストを使った提案書を行う。		
主な実績 2006年～南三陸町商工会 観光・空き店舗対策・商店街活性化事業 他 2007年～本吉唐桑商工会 地域懇談会・地場産品開発&広告指導 他 2008年～登米市みやぎ北上商工会 観光活性化による商店街にぎわい創出 他 2008年～佐沼大通り商店街協同組合 地場産品販売・商店街にぎわい創出 2009年 涌谷町商工会 中心商店街コンセプト創出と対策 他 2009年 桃生河南商工会 商店街にぎわい創出（個店指導） 他 2009年 亘理山元商工会 観光をテーマとした地場産業活性化と人材育成 他 2009年 丸森町商工会 元気再生事業（販売指導&観光人材育成）他		
資格等 二級建築士		
まちづくりに関する活動履歴 2003年～宮城県商工会連合会講師 2007年～仙台商工会議所〔古川商工会議所・石巻商工会議所含む〕講師 2010年～東北文化学園大学人間環境デザイン学科非常勤講師		

まちづくりについて考えること

住みよいまちにするコンセプトを4つの視点でとらえる。

1、東北人の発想力の源泉をまちへ・・・『溢れんばかりの命と対話する』。
東北の精神性や文化に深く影響を与えたブナ林の自然生態系を水辺・外周緑地帯・街路・公園に取り入れていく。ブナ林を中心とした自然観を私たちの日常的な暮らしのスタイル〔生活様式・文化・芸術〕としてとらえることが、新たな文化の可能性や子どもたちの心の環境教育としても意味がある。

2、大きな命の潮流をもつまちへ・・・『歴史・伝統を未来につないでいく』。
歴史的遺産として古い建造物ばかりとらえるのではなく、生活芸術やそのまちの文化の流儀、また記憶の場所性と受け継がれてきた大地の祭り性もとらえていく必要がある。都市に流れている精神性を、私たちの内省的に生きる発火点として意味深くとらえる。

3、情報化時代を生き抜くまちへ・・・『多様な公共の場を仕掛けていく』。
従来のヒューマンスケールの路地空間・街路や街並み・広場・商店街境界は、さまざまなコミュニティが生まれる電子ネット社会においては、都市型公共空間としてすべては対応しきれない状態が続いている。新たな視点で多様なコミュニティ形成をしていく公共空間の編集が必要である。それには建築としてのガチッと固まった固定空間ばかりではなく、プラス双発的で即興による『JAZZ 的空間（仮設）』の遊び場が新たな可能性のヒントを持っている。

4、子どもたちが遊ぶまちへ・・・『生きる力を呼び起こす仕掛けをしていく』
ネットやゲームに没頭する子どもたち。健全に成長していくためには、これらに費やすエネルギーと同じくらい、幼時からの野外における体験が必要である。そのためには、子どもたちの発達に合った『遊び』を核に地域計画から建築計画までをとらえ、内省的な地理教育学の視点で元気のよいイキイキとした環境づくりをとらえていく。

また、子どもたちの非行問題は地域のあり方とも深くかかわっている。広告に見る一見、緑豊かでキレイに装われている住宅地や明るく活発に遊ぶ子どもたちのいるまちでさえも問題が発生している。地域計画を考えると最初に子どもたちの「闇」＝心の深い部分まで考慮されていないことも起因している。子供たちの健全な育成のために、こうした子どもたちの心の問題も、これからの地域計画には議論していかなければならない。